

# 第七町内会だより

## 第7町内会 第1回役員会を開催

長らくコロナ禍の中、開催出来ずにいた令和3年度親栄第7町内会の 第1回役員会が、9月26日(日) 午前10時より北郷会館の2階ホールで行われました。

佐藤千鶴子副会長に進行及び議長をお願いし、綿谷会長挨拶の後、議題として①上半期の活動報告 ②会計予算進捗状況 ③下半期の事業予定 ④電子回覧板や公式のラインについての説明 ⑤その他など、予め用意された資料に基づき協議を行ない、10月に予定していた日帰りバス旅行の中止と、11月末に行う予定の「餅つき・餅まき大会」は10月末に開催の最終判断をする事とし、さらに来年1月開催予定の「子ども冬まつり」も12月中に最終判断する事を確認し合いました。

また明年2月の「北郷小除雪体験学習」や「生活道路徐排雪」は実施予定となりました。

なおその他の事業として「4丁目サロン」は昨年の9月から現在も休止しており、同じく「4丁目サロン茶和会」も7月に一度開催しましたが、現在は休止中です。



その他「北郷小スクールガード」は本年6月から11月まで毎月実施しており、第7町内会からは6名の役員が参加頂き大変お疲れ様でした。

緊急事態宣言発出で開催時期を調整していた「高齢者見守り活動」も7月から実施しており、一旦10月に活動記録をまとめて今後活かして行く事としました。9月現在の見守り対象者は22人となっています。

令和3年11月  
発行人 綿谷 隆  
編集人 田中 啓二

## 長寿のお祝いをお届け

今年もコロナ禍のなか2年続けての「長寿を祝う会」が中止となり、昨年に引き続き福祉推進委員が手分けをして9月20日からお祝いの品をお届けしました。現在77歳以上の方は198人いらっしゃいますが、今回はゴミ袋とコロナ感染対策として白とピンクのマスクと決めさせて頂きました。

## 長寿のお祝いをお届けしてパチリ！



## 回覧板の電子化について



電子回覧板第4回打合せ  
11月15日(月) 北郷会館

当町内会では、10月から電子回覧板のテスト運用を開始しました。

回覧板は町内会の重要な情報伝達手段ですが、住民の高齢化や集合住宅の増加など社会環境の変化に伴い、回覧板が遅れたり届かない事例が増えてきました。そしてパソコンやスマートフォンを始めとした電子機器の普及により、いつでもどこでも回覧板を閲覧する環境が整い始めました。

札幌市の協力のもと、6月からこれまで4回の打ち合わせを行っています。

10月中旬に登録方法などを掲載したパンフレットを会員全戸に配布しました。11月20日現在の「親栄第7町内会電子回覧板」の登録者は65人(64戸)、加入世帯の13%です。

札幌市内ではすでに「紙の回覧」を廃止して電子回覧のみで運用している町内会も出ていますが、親栄第7町内会は「紙の回覧板」も併用していきます。

来年の3月末までテスト運用を継続し、令和4年4月からは

- ①紙の回覧のみ
- ②紙の回覧+電子回覧
- ③電子回覧のみ

の三通りに分けて、情報の迅速な伝達と班長さんの負担軽減を図りたいと考えています。登録方法を記載したパンフレットは町内会事務局のありますので、ぜひ電子回覧板への登録をお願い申し上げます。

(親栄第7町内会会長 綿谷 隆)

## 2年振りの「もちつき会」を開催！

先日11月28日(日)の午前11:30分～午後12:30分で白石ゴム製作所駐車場をお借りして親栄第7町内会の「もちつき会」を開催しました。

当日は朝から日差しがあり、昼頃には気温も少し上がってまずまずの天候となりました。前日より役員有志の皆さんが下準備をして下さり、午前8時に役員が集合し開始時間の11時30までに男性が合計10臼を突き、女性が次から次へと「もち」に片栗粉をまぶし、丸い形に整えながら紙袋に入れる作業を淡々とこなして行きました。(男性10名、女性15名)途中からは子ども達にも「もちつき体験」をしてもらい参加者には飴を渡しました。

例年であればその場で「きな粉もち」や「お雑煮」にして振舞われて来ましたが、まだコロナ感染が終息していないため、参加者お1人1袋(2個入)をお持ち帰りとさせて頂きました。なお子ども25人と大人35人の参加があり、久々の町内行事は無事終了しました。

